

# JECK Jica Expert Conference Kanagawa

## JICA帰国専門家連絡会かながわ

### 第3号

#### 横浜国際協力まつり2003に参加して

昨年10月11日～12日に横浜産業貿易ホールにおいて標記のイベントが開催され、我々JECKもブースを借りて参加しました。JECKには水関係の専門家が多く在籍しており、横浜市水道局の支援も得て途上国における水問題に焦点を当てた展示を行いました。飲料水の缶詰数百本を寄贈して頂き、それを配りながら見学者にアピールしました。同時に、後藤専門家による胡椒の展示を行い、飄々とした語り口の解説は大変好評で、これも注目を集めました。中田横浜市長も足を留められ、JICA専門家の活動拠点がここ横浜市にあることについては大きな可能性を秘めているとのコメントを頂きました。ところでこのイベントは大変盛況でした。こんなにも多くの団体やNGOが国際親善に関心を持っているのかと、初参加のわれわれも驚き感心した次第です。隣には国際コースを持つ高校が交流実績を展示していましたが、先生の話では知識としての国際交流を実践に変えるきっかけにしたいとのことでした。



ただ、展示を仔細に見れば、途上国の安い雑貨やジャンクフードを100円ショップやフリーマーケットまがい売っているようにも見えます。これが「国際」であるとすればチョット淋しい。でもこういう事が突破口になって民間のボランティア的活動が活性化する、また、その些細な利益でも途上国には大きな励みになる、ということも認識させられました。JECKは本年も参加しますが、ただブースに座っているだけの展示ではなく何かアクションを伴う事を、会員の意見も頂きながら考えたいと思っています。昨年のサブテーマは、本にもなっている「あなたも100人の村の一人です」というものでしたが、世界が100人であれば我々は経済的にはトップ10に入ります。いろいろなことを考えるきっかけになりますが、主催者側からの視点も知りたいと思いました。今年の参加に乞うご期待。  
(文責：物部)



#### 国際親善の集い

毎年10月はJICA創立に絡む国際協力の日（10月6日）もあって、JICAイベントが目白押しです。JICA横浜国際センター（YIC）でも10月18日の一日「国際親善の集い」と銘打って、開発途上国や国際協力について理解を深めるための一般市民向けイベントが開催されました。当会JECKも神奈川県新聞社や県国際交流協会や市国際交流協会（YOKE）の諸団体とともに後援団体として連ね、YIC一階ロビーに特設された神奈川県内で活動するNGOの活動紹介コーナーの入り口に、団体としては大先輩の青年海外協力隊神奈川県OB会と並んでブースを出展しました。



イベントはブースでの諸団体活動紹介コーナーの他に、神奈川県新聞記者のアフリカでのJICAボランティア活動取材の写真展や講演会、またYICに滞在している外国研修員による文化紹介や交流会など盛りだくさんでした。さらに当日は青年海外協力隊、シニア海外ボランティアまた日系社会シニアボランティアの募集説明会も順次開催され、国際協力に参加したい意欲のある方々も多数集まり熱気がこもったイベントとなりました。



この時期県内あちらこちらの国際交流イベントで鍛えられた当会員の説明も板につき、多くの方にJECKの広報もできました。また、YIC三階の国際協力連絡室に当会と肩を並べる横浜NGOネットワーク連絡会登録のさまざまなNGO団体とも交流でき、同時に彼らの活動に我々のJECKリソースを今後ご利用いただくようアピールできました。



(文責：谷保)

#### JECK創立一周年記念シンポジウム開催される

1月24日午後3時より、JICA横浜国際センター会議室に於いてJECK創立一周年を記念して、第1回「シンポジウム」が開催されました。講師は、いずれもJECKの会員で、我々がいかに多方面に亘って日本から世界への技術協力に貢献しているかを如実に示してくれたシンポジウムでした。



今回内容は以下の通りです。

- 1、「水道分野の技術協力」 講師：横浜水道局 中之菌賢治
- 2、「金属加工分野の技術協力」 講師：素形材センター 菊池正夫
- 3、「保健医療分野の技術協力」 講師：国立国際医療センター 建野正毅

3人の専門家に話を聞いた後で、全員で質疑を含めた話し合いを持ちました。現地の現状はどうか、どの様な点が一番苦労したのか、気を使わねばならないところは何か、今後の課題はどの方向にあるのか等、国際協力の豊かな経験者の方々の話は尽きませんでした。私達専門家は、ともすると自分の専門分野のことは圧倒的に詳しいけれども、他分野の人達がどんな分野でどんな仕事をどの様な方法でやっているのかに関しては、それほど興味を示さない一面がある気がします。情報不足もあるでしょうがもう少しお互いの分野のことも知る必要があるのではというのが、今回のシンポジウムの目的の一つだったので成果が出たと思います。



当日は、横浜JICAの方々をはじめ、会員の方、横浜BELLライオンズクラブの方々、一般参加の方等を合わせて50人以上が参加し、それぞれに好評を博しました。終了後の新年懇親会も話が弾み、次を是非やろうということになり盛会裡に終えることができました。  
(文責：佐藤)